

会報 山口七夕会

令和2年(2020年)9月

第7号

題字/書・原野和夫氏 山口七夕会/会報編集委員会:発行



萩往還一升谷辺りの石畳
表紙絵 山根和也(会員番号)No39 横浜市在住

萩往還

山縣さんと 「萩往還ウオーク会」に挑戦した。

萩往還は、毛利氏が慶長9年(1604)萩城築城後、江戸への参勤交代での「御成道(おなりみち)」として開かれました。

日本海側の萩市と瀬戸内海側の防府市をほぼ直線で結び、全長はおよそ53km。山陰と山陽を結ぶ重要な交通路であり、幕末には維新の志士たちが往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。萩往還に想いを馳せながら歴史の旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。



■ 涙松跡辺りで旧知の方と出会い、旗を!



■ マラニック大会 選手名簿



■ 筆者の完路証



■ ゼッケン

山縣さんと「萩往還ウォーク会」に挑戦した。

山根 和也
(会員番号) No39 横浜市在住

「萩往還に参加してみない」?
当時、七夕会幹事長だった山縣正彦さんから誘われました。山高同期の利重尚義君も即座に同意してくれ、片道35キロのコースに3人でエントリー。
山口七夕会の旗を枯れ枝にくくりつけ、雨上がりでぬかるんだ萩往還をはつらつと元気いっぱい歩ききった山縣幹事長の勇姿を写真で回想し、感謝の意を表します。合掌



■ 一里塚を過ぎる笑顔の山縣・利重さん



■ 国道262号に出て萩市佐々並に入る!



■ 萩往還のお地藏様に旗を掲げる利重さんと筆者



■ 萩往還 看板



■ 表紙絵
萩往還一升谷辺りの石畳

ちょうちんに再び灯を！ ―山口七夕会の志―



新型コロナウイルス感染症が沈静化しませんが、七夕会会員の皆様におかれましては健やかに過ごしてでしょうか。2020年、世間情勢に鑑み、山口七夕会の年次総会を創立後初めて中止いたしました。山口七夕会、そのルーツは室町時代から伝わる山口七夕ちょうちんまつりです。第二次世界大戦に伴う自粛や台風による中止はあったものの、感染症によりちょうちんまつりまでもが中止になるとは誰が想像したでしょう。

一方で8月6日から7日にかけて、ご関係者の尽力により、Youtubeを活用した「おうちでちょうちんまつり」が展開されました。山口に帰省できない方も、インターネットを通じて山口の絆をつなぐ。まさにピンチはチャンス。時代は今、コロナ禍における新しい日常を求めており、「おうちでちょうちんまつり」は「With コロナ」のひとつの形ともいえます。

明けない夜はありません。世の中は必ず良い方向へ、明るい方へと向かうはずです。その時に備え「after コロナ」を意識することも大事ですが、今は健康に留意して感染症の拡大を防ぎ、コロナ禍の終息に向けて日々の努力を続けながら、一日一日を過ごしていきましょう。再びちょうちんに灯がともる日を会員の皆様と一緒に元気で迎えられよう、志を忘れず、未来を見据え希望をもって、前へ、明日へ、歩んで参りましょう。

令和2年9月

山口七夕会会長

八木 健二

< 連載企画・山口方言で一言 > 標準語訳と出題者は23ページに掲載しています。

①年取って、こけんように歩くんがやとじゃけえ、はあやれん。
②がんぜきじゃーてんくらいごきもすごきもせん。うでもだったしすいばりたったししごにならん。 はーもーささらほーさらじゃ。
③コロナでどこにも行かれんけえねえ、てれんこばれんこしよるそ。
④在宅勤務ばかりで気がぬけちょんか！ぶるとっぴんでやれーや。
⑤コロナがあるけえ家で映画ばっかし見ちよったらTVが破けたでよ。よいよ、しまあかしたでよお。

< 目 次 >

頁 1 表紙「萩往還から」	頁 14 「ブルーインパルス」の東京フライオーバーに思うこと 西村弘文会員
頁 2 萩往還ウォーク会の思い出	頁 15 「コロナに負けるな!! 湯田温泉西の雅常盤の取り組み」 宮川和也会員
頁 3 八木会長挨拶 / 山口方言で一言 / 目次	頁 16 「東京コワー コロナとボクと時々カゾク」 梶山俊哉会員
頁 4 市長御挨拶	頁 17 新任の山口七夕ふるさと大使の皆さん
頁 5 議長御挨拶	頁 18 山口七夕ふるさと大使からの寄附のご報告
頁 6 令和2年度年次総会・書面決議報告	頁 19 新会員・法人会員の皆さん
頁 7 山口七夕会会則改訂(令和2年9月1日付)	頁 20 山口七夕会運営基本方針・組織関係図
頁 8 山口七夕会の一年(令和元年度活動記録)	頁 21 山口七夕会役員一覧
頁 9 連載コラム「山口市の空を初めて飛んだ飛行機」	頁 22 ピンバッジ・缶バッジ会計報告 / 法人会員募集
頁 10 「わたしの郷里山口の想い」 品川征志会員	頁 23 原稿募集 / 山口方言で一言(標準語訳)
頁 11 「欧州余話」 渡邊史信会員	頁 24 イベント案内 / 編集後記 / 事務局からの案内
頁 12 「毛利氏の縁」 藤井尊弘会員	
頁 13 「コロナと妊娠」 申神正子会員	

御挨拶



山口市長

渡辺純忠

山口七夕会会報第7号の発行に当たりまして、御挨拶を申し上げます。

八木会長を始め、会員の皆様方におかれましては、平素から、本市発展のために、お力添えをいただいておりますことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

今年度の定時総会につきましては、幹事の皆様方を中心に開催に向けて御尽力をいただいていたところでございますが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により中止となりましたことは誠に残念でなりません。一日も早く、この感染症が収束し、来年の総会におきまして、皆様方と再会できますことを切に願っております。

さて、現在、本市におきましては、感染症への対応が長丁場になることが想定される中、密閉、密集、密接の「三つの密」の回避、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の市内全体への定着を図りつつ、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ地域経済の回復に向け、経済活動の段階的な再開状況に応じた交流の創出・拡大や市内の消費喚起を図る取組を進めているところでございます。

また、感染拡大の防止と市民サービスの向上に向けて、AIや5Gなどの革新的技術を活用した便利で豊かな「Society5.0」を見据え、次世代の市民の移動手段やスマートエネルギー等の調査研究を進めますとともに、行政サービスの申込みや閲覧が個人のスマートフォンから行えるようなオンライン化やICT化等を進める「スマート自治体」に向けた取組を加速してまいることといたしております、こうした施策展開を、来るべきアフターコロナの時代における新しい社会の姿としての取組にもつなげていきたいと考えております。

本年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、市内の多くのイベントも中止を余儀なくされているところでございます。こうした中で、本市では、一の坂川のほたるの見頃でございます5月末から6月上旬までの間に、一の坂川のほたるのライブ配信を行いました。また、8月6日には、山口市おうちでちょうちんまつり実行委員会の主催により、「＃おうちでちょうちんまつり」と称して御自宅で山口七夕ちょうちんまつりを楽しめるプロジェクトが実施されたところでございます。山口七夕会の皆様、とりわけ東京本部の皆様方におかれましては、今後とも、こうしたリモートでのイベント等に御参加いただきますことで、帰省などを控えられる中にありましても、ふるさと山口を懐かしみ、想いを馳せていただきたいと存じます。引き続き、ふるさと山口市の力強い応援団として、本市の取組を多くの皆様に御紹介いただき、山口市の魅力を広く発信していただければ幸いです。

結びに、山口七夕会の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

御挨拶



山口市議会議員

坂井芳浩

この度、山口七夕会の会報第7号の発行に当たりまして、御挨拶を申し上げます。

八木会長を始め会員の皆様が、ふるさと山口を愛し、貴会の活動を通して、本市の発展に多大なるお力添えをいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

今年度の定時総会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況から中止となりましたことは、誠に残念でなりません。皆様と語りあえる機会を大変楽しみにしておりましたが、開催に向けて御尽力いただいた会員の皆様に感謝申し上げますとともに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束により、また皆様と語りあえることを切に願っております。

さて、本市におきましても新型コロナウイルス感染症の影響から、学校の休業や経済活動の落ち込みなど、社会経済活動に多大な影響が生じているところでございます。感染防止対策と社会経済活動を両立することが課題となります中で、先の6月定例会の開催に当たりましては、議員一人ひとりの徹底した健康管理はもとより、新しい生活様式を取り入れ、議場での飛沫感染防止の対策や3密回避の取組を可能な限り実践いたしたところでございます。コロナ禍の中、深刻な状況の市民の皆様の切実な声を市政に繋げていくとともに、経済対策を始めとする本市の政策に対するチェック機能を議会一丸となって果たしていかなければならないと気を引き締めているところでございますし、議会に向けられている市民の皆様の御期待の大きさと、二元代表制の一翼を担う責任の重さを改めて感じているところでもございます。引き続き、一日でも早く市民の皆様が平穏な日常に戻れますよう、鋭意努力をいたしてまいる所存でございます。

また、現在、山口市議会におきましては、議会基本条例の理念に基づき、市民の皆様に身近な議会の実現と議会活性化のために、議会改革検討協議会を立ち上げまして議会改革を鋭意進めているところでございます。議員が議案や地域の課題解決に向けた議論を活発に行うことはもとより、多様化する市民の皆様の御要望や御期待にお応えできますように公正公平で開かれた議会運営、健全で活力ある地方議会の実現を目指すものでございまして、市民の皆様の御意見を拝聴しながら着実に進めてまいり所存でございます。山口七夕会の会員の皆様におかれましては、今後とも山口市議会に対しまして御指導や御助言を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様におかれましては、時節柄どうぞ御自愛くださいますようお願い申し上げますとともに、山口七夕会が今後も益々御発展されますことを祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

「令和2年度年次総会・書面決議結果報告」

有効な投票総数 = 149(個人会員143+法人会員6)

有効な投票総数の過半数 = 75

議案第1号	会則の改訂	賛成数 = 149	否決数 = 0
議案第2号	令和元年度事業報告	賛成数 = 149	否決数 = 0
議案第3号	令和元年度決算報告	賛成数 = 149	否決数 = 0
議案第4号	令和2年度事業計画	賛成数 = 149	否決数 = 0
議案第5号	令和2年度予算説明	賛成数 = 149	否決数 = 0

以上、議案第1号から第5号まで、有効な投票総数の過半数の賛成を得ましたので、

議案第1号から第5号まで、提案通りに可決されました。

ご多用のところ、書面決議にご協力賜り誠にありがとうございました。

令和2年9月1日施行 山口七夕会会則改訂

【改訂の主たる点】

1. (第6条)年次総会における代理人による表決を可能とする。
2. (第7条)年次総会の開催に替えて、総会の決議事項について書面決議を可能とする。
3. (第12条)評議員会の構成メンバー、開催要領等について改めて整理し、規定する。

【改訂対象となった条文(新条文を掲載)】

(年次総会(総会))

第6条 本会は、毎年1回原則として7月又は8月に総会を開催する。

2 前項に定めるほか必要がある場合は、臨時総会を開催することができる。

3 総会は、会長が招集し議長となる。

4 総会の決議は、出席会員の過半数をもって決する。

5 総会に出席できない会員は、あらかじめ他の会員を代理人として表決を委任することができる。

6 総会においては、本会則に定めるもののほか次の事項について決議する。

- (1) 事業報告および決算の承認
- (2) 事業計画および予算の承認
- (3) 会則の変更
- (4) その他評議員会が定める事項(目的)

(書面による決議)

第7条 前条の規定にかかわらず、総会を開催することが困難であると会長が判断した場合、会長は、前条第6項各号に掲げる総会決議事項について、会員に対し、書面(インターネット・メール等を含む。)による表決を求めることができる。

2 前項の書面決議は、有効投票総数の過半数の賛成をもって決する。ただし、可否同数の場合は会長がこれを決するものとする。

3 会長は、書面決議の結果について、ホームページ、郵便、会報、通信等の手段により、会員に通知するとともに、次の総会で報告しなければならない。

(評議員会)

第12条 評議員会は総会前に開催し、会長が招集し議長となる。

2 評議員会は、会長および評議員を議員として構成する。なお、山口市役所代表、監査役および顧問は評議員会に出席して意見を述べることができる。

3 評議員会は、原則として、総会前に開催する。ただし、会長が必要と認める場合は、臨時評議員会を開催することができる。

4 評議員会は、書面またはリモート会議等により開催することができる。

5 評議員会の決議は、出席評議員の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は会長がこれを決するものとする。

6 評議員会は、本会則に定めるもののほか、次の事項を審議・決議する。

- (1) 予算および決算、事業報告および事業計画案
- (2) 会則の変更案
- (3) 総会に提案する事項
- (4) 会長から提案された事項
- (5) 会務の処理に関する細則
- (6) 予備費の支出
- (7) その他重要事項および緊急事項

7 会長は、評議員会の決議を経て、毎年4月1日から総会で予算が成立するまでの間における定例的な予算(会報の送付や総会の準備に要する経費など)を執行できる。

8 評議員会の事務局は、本部長および本部長が指名する者が務める。

附 則

平成11年2月6日施行。

平成22年7月31日一部改正。

平成24年7月28日一部改正。

平成26年7月26日一部改正。

令和1年8月3日一部改正。

令和2年9月1日一部改正。

令和元年度 山口七夕会の一年（活動記録）

◆令和元年 5 月 4 日(土)
(東京)ゴルフ同好会・第二
回八木重二郎杯
於:武蔵 OGM ゴルフクラブ
(10 名参加)



◆令和元年 5 月 11 日(土)
(山口)楽農部会・田植えとバ
ーベキュー



◆令和元年 5 月 25 日(土)
(山口)「第 5 回音楽祭 輪-Rin-」
於:ポルシェセンター山口(93 名参加)



◆令和元年 8 月 3 日(土)定
時会員総会
於:日立金属高輪和彊館(82
名参加)
講演「令和の時代に大村益次
郎を学ぶ」
講師/松村卓正氏(大村神社宮司)



◆令和元年 8 月 17 日(土)
(山口)夏の講演・交流会
於:セントコア山口(69 名参加)
講演「令和の時代に大村益次
郎を学ぶ」
講師/松村卓正氏(大村神社宮司)



【協力事業】

◆令和元年 9 月 15 日(日)
～16 日(祝日)
(東京)三茶でやまぐち食べ
ちゃろ祭りサポート



◆令和元年 9 月 28 日(土)
(山口)楽農部会・稲刈り

◆令和元年 9 月 28 日(土)
(東京)大人の社会見学
海上自衛隊・米軍横須賀基
地見学(14 名参加)



◆令和元年 10 月 1 日(火)
(山口)「ぶち酎祭 with シ
ンガポール KANPAI」
於:セントコア山口(40 名参
加)



◆令和元年 10 月 19 日(土)
(東京)創立 20 周年記念講
演会 & 交流会
於:キーストンクラブ東京(54
名参加)
講演「夢があるから強くなる」
講師/小倉純二氏(日本サッカー協会第 12 代会長)



◆令和元年 11 月 16 日(土)
(山口)秋の講演・交流会
於:セントコア山口(54 名参
加)
講演「氷上山興隆寺北辰妙
見社について」
講師/市原修俊氏(山口市氷上 興隆寺住職)



◆令和元年 11 月 22 日(土)
(東京)ゴルフ同好会・第三回八木重二郎杯
於:武蔵 OGM ゴルフクラブ(7 名参加)

◆令和元 12 月 5 日(土)
(東京)カラオケ同好会
於:ミュージカンテアマネ
(12 名参加)



【各種活動】

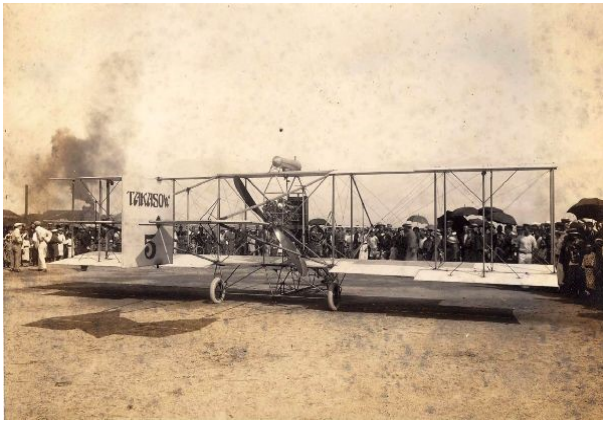
◆(東京)レノファ山口応援
令和元年 6 月 1 日(土)
水戸戦、7 月 27 日(土)
大宮戦、7 月 31 日(水)
横浜 FC 戦、9 月 8 日
(日)東京 V 戦、11 月 10
日(土)町田戦



山口市内の面白名所発掘 2 「山口市の空を初めて飛んだ飛行機」

古谷 眞之助（会員No.607）

我が国で初めて飛行機が飛んだのは明治 43 年（1910）12 月 19 日、東京の代々木練兵場でのことでした。徳川・日野両大尉が達成したのはご存知のことかと思いますが。では山口県での初飛行は、いつ、どこで行われたかご存知でしょうか。それは、それから 5 年後の 3 月 14 日、お隣の防府市の佐波川を渡った付近から離陸した大阪人パイロット高左右（たかそう）隆之によるもので、飛行時間はわずかに 5 分でした。下の写真がその時の機体、「高左右式 5 号」です。写真は彼のお孫さんからお借りしたものです。



【高左右式 5 号 小川清之氏提供】

残念ながら、山口市が県内初ではなかったのですが、「山口市から離陸して山口市上空を初めて飛行機が飛んだのはいつ、どこでのことか」というと、その翌年の大正 5 年（1916）9 月 17 日、午前 10 時 30 分、山口市宮野の桜畠練兵場でのことでした。練兵場が飛行場として使われたのですが、これは当時、ごく普通のことでした。現在の陸上自衛隊山口駐屯地演習場です。ここに幅約 100m、長さ約 270m の滑走路と格納庫が設けられたのです。

この飛行会の主催者、国民飛行会の会長は下松市出身の長岡外史陸軍中將で、彼は我が国における航空思想普及と航空技術育成に最も熱心な有力者となっていて、のちに「我が国航空の父」と呼ばれた人物です。パイロットは井上騎兵中尉で、機体は国産の岸式「第一つるぎ号」でした。この飛行会は地元紙・防長新聞社が実質的に主催後援し、8 月 27 日を皮切りに「我が社後援、空前の壮観、飛行大会挙行」という案内記事を連日掲載して機運を盛り上げたのでした。

機体を製作したのは東京で耳鼻咽喉科を開業していた岸一太博士で、彼はドイツ留学時代に金属合金技術も学び、医師の傍ら富山県の剣山にモリブデンの鉱脈を発見し、これを事業化して熱に強いエンジンを製作したのでした。「つるぎ号」の名前の由来は、剣山というわけです。エンジンを開発した岸博士は機体の製作にも取り掛かり、柳井市出身の宗里悦太郎を主任設計者として指名し、「岸

式第一つるぎ号」を完成させました。初飛行は、山口での飛行のわずか 2 ヶ月前、大正 5 年 7 月 1 日のことでした。飛行会が近づくと、記事はさらに熱を帯びて行きます。

『長岡中將を会長とせる責任ある国民飛行会を我が社が招聘し、鴻城の中空を破って鵬翼の翔る大壮観をば県下の諸君とともに見、航空の壮絶を味わい、将来国防上益々必要なるこの機の新知識を実地に県民諸君と分かち、我が社がいささか国家の為に、また本県の為に貢献せんと欲する微衷にして、諸君と共に喜びを同じうするところなり』

この時の実際の飛行の様子は、以下の記事の通りです。

『衛戍病院上を南に、会場を一周して高度を高め、約三百米の高さを市中に向かいて亀山山嶺を三周し、香山園に敬意を表し、さらに本社付近は最も低く空中滑走を試み、それより高度を高めて、軌道線を湯田温泉に進み、矢原の本社長邸を迂回し、樺野川上を四百、五百、六百米と高め、折りしも密雲たなびける中を、八百五十米の高度を以て隠顕出没自在の飛行を試み、最高九百米より下降して場上に現れ、周慶寺山上を宮野、仁保方面に出で、螺旋状を描きて数回の飛翔を無事終了して、約二十五分の後着陸せり。』

この飛行会のために防府からは臨時列車が用意され、小郡からは満員となって山口駅まで途中停車はできなかったそうです。また、準備された観覧席では、特別会員 40 銭、一般は 20 銭、中学生 10 銭、1 円以上支払った人を名誉会員としていたので、毛利公をはじめとする貴族、県知事なども参加していた、と新聞記事にはあります。



【岸式「第一つるぎ号」 萩博物館提供】

残念ながら、山口市上空を飛んだ時の鮮明な写真は見つけることができませんでしたが、1 週間後の 9 月 25 日に萩市の菊ヶ浜海岸で行われた時のものが萩博物館に残っています。それが上の写真で、背後は指月山です。

ライト兄弟の初飛行からわずか 13 年後のこの飛行会では、当時 5 万人だったといわれる山口市民の大部分が鴻城の空を見上げて熱狂したのでした。

わたしの郷里山口の想い

品川 征志（会員No.289）

わたしの郷里山口の想いは、いつも山口駅周辺での進駐軍が市内を賑やかし騒がしい頃で、高い煙突は牛乳会社と風呂屋だけ。前後は鴻の峰 - 亀山 - 方便山 - 象頭山 - 姫山 - ふたご山の連なりと夜は天の川が綺麗な星空から始まる。

今も介護施設などの誤嚥防止の訓練で歌われる「ふるさと」の2番に～志を果たしていつの日にか帰らん～この一節を耳にする。小・中時代でも歌い聴き、次男以下はフロクの子、山口を出ろ！！と言う当時の環境ではと、いまだに思う事もある。

小学期は町内会での行事参加がそのまま下校後の遊び仲間と歳順で親分・子分で助合う子供世界。町内で安心できる所は、楠木のある寺・福部様のお宮・お旅所またその奥にあったカトリック教会



だった。また学校休み中は探検と称して鴻の峰の城跡井戸探し、象頭山での水晶探し、出合い川で魚とり、亀山の洞穴や経専の道路から講堂演台下への抜け道、そして鳴滝での岩登りと泳ぎ等…の遠出もした。近所では今は亡き商店街のおじさん・おばさん達に岐波・富海・阿知須での海水浴や大内での松茸狩り等。不思議と遊んだ事ばかりが想い浮かぶ。

中学期は町内子供会もバラけてしまい、新しくクラス友達が出来て、これまでの禁足地も無くなり吉敷・湯田・大内・宮野と少し広がった。また、先生の郷土・理科・職業家庭・他教科での合間に聞かされる与太話（脱線）で従順になった様で、児童図書館・博物館通い、知的環境内で学びに変化し暗くなるまでお世話になった想い。

高校期は入学準備に有るクラブ活動説明会に出た途端、先輩から直ぐに後ろか



ら首根っこを掴まれて商業科棟の2階一番奥の風向計のある地学準備空室に引き込まれ有無



も言わず天文部入部。これが今でも続く私のお星様絡みの人生スタートにとは思ってもいなかった。

現在、後期高齢2年生。首都圏の山口七夕会へのお誘いは山根一也幹事氏で69期同窓会還暦の当番期がきっかけだった。単なる山口人だけで世間に疎い私に懲りなく参加案内の面倒を見て頂いた元山本和生幹事長さんやいつも笑顔で迎えてくださる会員皆様には感謝です。この東京での七夕会の参加で故郷への想いだけをすませ、永い間、山口との往復は冠婚葬祭、要が済めばとんぼ返り。いつの間にか母は100才を超え、私も人並みに高齢となり昼夜区別のないダラ人生が祟り体にガタが、これでは母親との生存競争になる。

永く首都圏内で日本最先端の医療環境で過ごし、多くの医療関係者の助言・お世話になった方々への裏切り？自分の足元を見落とした反省から、ここ数年間は時間にゆとりある山口往復し母との聴講と写真記録等の足跡整理から長生きの知恵と、楽しく遊んだ奥深い郷土史また市中の展示館から



～そうなんだ！～の面白い再発見。既に地元で過ごして居られる同級生や世代交代された若い皆さんとの語らい。本当に故郷はええネ！これは今年1月までで停止。いま国内はコビッド19禍で大変。この騒動も戦後まもない山口の対しらみ・結核・赤痢・ジフテリア発生等で進駐軍・保健所の町内防疫戦を眼にした想い出が、私の経験となり今を生かされています。

「 欧州余話 」

副会長・会長代行 渡邊 史信（会員No.364）

1988年から2005年まで途中4年の日本帰国をはさんで約14年弱の2回の欧州駐在をした。最初の駐在地、ドイツの時は戸惑いの連続。

特にドイツ人の「他人が発する音に対する感覚」はなじみません。くしゃみは鼻をつまみ、口を押さえて顔を真っ赤にして噛み殺し押し込めなくてはいいけない。「ハクッション！」とやるのは軽蔑と嫌悪の対象だ。日本人もコロナ対策としても「くしゃみエチケット」を守りましょう。反対にハナは思いっきり「ブフォー！」と老若男女皆音を出してかまねばいいけない。音はラッパのように大きければ大きいほどいいとされている。うら若き乙女がそんな音を出してハナをかんでいるのは、私共にとっては驚きと興ざめだが、逆に日本式の小さく「ズルズル」とかんだり、ハナを「シュンシュン」とすすする音は、彼らにとって身をよじるくらいの嫌悪の対象だ。欧州全般にそうなので、郷に入っては郷に従え。皆さん気をつけて。ちなみに人にもよりますがハンカチは基本鼻をかむため。日本人が手洗いの後にハンカチで手を拭いているのは、「あの淑女乙女は出したハナの付いたハンカチで手を拭いている、何てきたねー！」と多分思われているですよ。

ドイツでは他の駐在員とは違いドイツ人しか住んでいない村のアパートと戸建てに入りました。そのルールを多少ご披露します。

先ず夜10時以降の禁止事項。例えば居住アパートのエレベーターを使うこと、トイレを流すこと（済ましたら流さず溜めておく！こと）、お風呂に入ること（水を溜めたり流したりはダメ）、等々。構造上音が響き、やると必ず翌朝クレームレターがドアの隙間に入っている。夏場も冬場も夜遅く出張や接待から帰った時の苦労は……！

日曜日の禁止事項です。洗濯機・掃除機を使うこと、庭の芝刈りをする事等。安息日なのでやると必ずクレームレターがドアの隙間に入っています。出張や接待でどうしても時間がなかったある

夏のこと、庭の芝が伸び始めていたら「芝を刈れ！」とクレームレター到来。どうしても日曜日しかできないので少しの間小さい庭だし「えい！」と芝を刈ると当方が悪いのだが「日曜に刈るな！」とクレームレター。では次回は家内に頼んでウィークデーにやってもらうと「女にさせるな！」とクレームレター。さてさて。

スペイン・マドリッドの王宮をスペイン人の友人夫妻と家内で2004年4月中旬訪れた時のこと。翌5月25日のフィリップ皇太子(当時)の結婚式を控えて警備も厳重・・・か、と思ったらそうでもなかった。多くの観光客の中をパトカーが一台ゆっくり巡回していた。ふと気づくと何とそのパトカーの警官が散歩中の犬をみて、「ワンワンワン」とマイクで犬の鳴き真似をしていた。観光客は手をたたいて大喜び。日本の皇居警察や警視庁が同じ事をするとな大問題になる。お国柄の違い。



（スペイン・ナバラ州 サヴィエル城の前で）

1991年1月、湾岸戦争開始。駐在員はテロのリスクを避けるため出張禁止。私と当時の上司の共通の趣味は合唱で、二人でカラオケに繰り出してこれだと思う人に声をかけまくり男声合唱団を結成。その後ずっと続いて来年がなんと30周年。コロナが終息していればドイツでの演奏会に参加予定。余談。ドイツの田舎町で演奏会を開催しドイツ語で素晴らしい！合唱を披露。アンケートに「日本語はドイツ語に似ているね」と書かれており、ドイツ語にはいささか自信を持っていた駐在員一同がっかり。ハーモニーと音楽性は大好評だった（はず！）

（いつの日かご希望があればいくらかでも）続く

「毛利氏の縁」

藤井 尊弘(会員No.780)

私がまだ小学生、または中学生だっただろうか、我が家で何度か聞いたことがある、「山口県で一番偉い人は誰なの。」。母は即答した、「毛利の殿様と吉田松陰だよ。」。何度聞いても答えは変わらなかった。次も定番の質問だった。

「どうして毛利の殿様と吉田松陰なの。」。「それは明治維新に日本を変えた人だから。」。がお決まりのやり取りである。

それを決断した人が、毛利の殿様。それを実行に導いた人が吉田松陰と母は言いたかったのだろう。あれから40年、私自身もいまだそう思っている。そして山口県出身者ならば同じ思いの人は多々いらっしゃるのではないだろうか。

私は山口市の後河原の産婦人科で生をうけた。すでに54年が経過している。その後、親の仕事で下松市に移り、大学時代は東京。就職も東京、大手電機メーカーとした。その後転勤にて移り住んだのが厚木である。



厚木市は人口約23万人の中堅都市。神奈川県中央に位置し、東名高速道路のインターがあることから、工場の誘致が昔から多い。NTT、日産、富士通、ソニーと日本を代表する大企業が立ち並び、さらに地方交付税なしで財政を成り立たせる優良都市だ。

若い人たちが住みやすいように子育て支援を進め、お年寄りにもとてもやさしい。

よく耳にするが、マッカーサーが降りた飛行場は、厚木基地である。しかし厚木市に厚木基地はない。あれは綾瀬市の話だ。

さて縁というのは、不思議なもので、厚木に転勤をして10数年、厚木市役所に行ったときだったか厚木市のちらしを手にした。毛利という文字が目に入った。毛利、懐かしい響きが頭をよぎった。厚木市の紹介の欄だったか、厚木市は毛利氏の発祥の地と書かれていた。ここに山口があるとは思ってもみなかった。

厚木市史にはこのように書かれてある。

西国に行っても名乗り続けた「毛利」の姓。これには源氏の家臣である関東御家人としての誇りがあったようだ。この「毛利」の姓を初めて名乗ったのが、毛利季光(すえみつ)である。季光の父親は、公家の大江広元(おおえのひろもと)。建久3年(1192年)、源頼朝が鎌倉幕府を開府



し、朝廷の内情に精通し、法律などの知識が豊富な広元を京都から呼び寄せた。広元は政治の中枢を担う政所の初代別当主を務めるなど幕府に大きく貢献し、資源豊かな要地である「相模国毛利庄」(現在の厚木市)を領地として与えられる。広元の四男に生まれた季光は、毛利庄に居住。父親の姓であった「大江」を、「毛利」に改めた。

宝治元年(1247年)、鎌倉幕府は、北条氏の台頭で、揺れていた。横須賀市周辺を治めていた三浦氏が挙兵したのである。その渦中、人生の岐路に立たされた一人の武将がいた。厚木の地にある毛利庄(もうりのしょう)の領主・毛利季光、その人である。

毛利季光は、執権・北条泰時の孫・時頼に娘を嫁がせ、北条氏と姻戚関係を結んでいた。しかし、季光の妻の実家が三浦氏だったことから「実家の三浦氏を捨て勢いのある北条氏の味方するのは武士の義に背く」と妻に引き止められ、三浦氏の味方をするようになったのである。しかし、この戦いで三浦氏は敗れてしまふ。

娘婿、妻の実家の板挟みになり、思い悩んだ末、武士の義に生きた毛利季光。この人こそ、「毛利元就」の祖先なのです。と。

その後の毛利が、日本を代表する戦国大名までかけあがるとは、季光も思ってもいなかっただろう。

私の寄稿から厚木という場所が、少しでも多くの人に、山口市民に山口と縁深き場所であることを理解していただけると幸いである。

さてさらに話が飛ぶが、偶然は重なり来年は毛利元就没後450年。そして再来年、いよいよ大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で毛利季光が登場する。

「 コロナと妊娠 」

ふるさと山口本部・副本部長 申神 正子（会員No.477）

里帰り分娩の受け入れ制限を解除します

未知のウイルス感染でにわかに年明けから世間はざわついておりました。その感染力の強さと治療薬、予防薬がまだ無いこと、どういった自然史をもつのかわからないでいることで、様々な方面で慌て始めていたのは記憶に新しいと思います。2020年4月16日に政府が緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大することを決定して以降、当院(総合病院山口赤十字病院)におきましても山口県外の



里帰り分娩の自粛をお願いしておりました。4月21日付けで、妊婦の皆さんへ向けて、公益社団法人 日本産科婦人科学会、加えて公益社団法人日本産婦人科医会からも以下の通達がございました。

妊婦さんへの“里帰り(帰省)分娩”につきまして

4月7日付で日本産科婦人科学会・医会が発出いたしました「妊婦の皆さんへ」の中で記載した、「急な帰省分娩の検討はぜひ避けてください。」と言うメッセージは7都府県への緊急事態宣言の前に作成したものでありますが、4月16日にこの緊急事態宣言が全国に拡大され、全ての国民に行動変容(移動の抑制)が強く求められました。

『妊婦の皆さんの帰省分娩に関しましても、更に平時と異なる行動をご勘案いただくを得ない事態となっております。従いまして、帰省分娩の予約をすでにされた皆さんもぜひ、予約されている施設とご相談の上、状況によっては現在お住いの地域での出産をご考慮いただきたく存じます。なお、現在の居住地で出産施設を捜す際には原則として自分で捜さずに現在健診を受けておられる担当医師と妊娠中の経過や合併症の有無などをふまえてご相談いただき、決定していただきますようお願い申し上げます。』

この宣言があつてから、関東圏の妊娠35週の初産婦さんが、ルールを守らずにいきなり岩手県の産婦人科を受診し、「たらい回し」の表現でマスコミが取り上げた例も記憶にあるかと思います。そのルールとは。大まかには以下の通りです。

里帰り分娩(帰省分娩)をご希望の方へ

『予約は不要ですが、妊娠32～33週には受診して下さい。どうしても難しい場合は個別に対応しますので、下記

へお問い合わせをお願いします。これは母子共に安全なお産を行うためですのでご了承下さい。また、お持ちの妊婦健康診査受診票が当院で使用可能かどうか、発行された保健センターにあらかじめご確認ください。

なお、下記に該当する方は可能な限り妊娠32週より早く帰省してください。

- ・分娩様式が帝王切開と決まっている方
- ・基礎疾患があり、他科への紹介が必要となる方
- ・胎盤の位置異常(前置・低置)を指摘されている方
- ・赤ちゃんが小さめまたは大きめと言われている方
- ・切迫早産や多胎など現在の主治医から早めの帰省を勧められている方』

このルールは、母子ともに安全に分娩していただく、そして地方都市の妊婦さんを守るための「あたりまえのルール」です。これをほぼ全国の周産期を取り扱う病院は周知徹底し、地域周産期を守ってきました。そのおかげで、地方周産期、また都市部周産期クライシスはおこらなかったと理解しております。まことにもって、日本国民の善良かつ真面目な姿勢のおかげであると思いました。イレギュラーなことをする妊婦さん、家族により、地域周産期は崩壊するのです。

そして、6月19日より県境をまたぐ移動が全国で制限解除となったことをふまえ、里帰り分娩の受け入れを全面的に再開することとなりました。その場合でも、ご実家に戻られた後2週間程度の受診猶予期間をお願いし、さらに妊娠32週までに移動していただき、受診前にご連絡いただくようお願いしております。(状態によっては早めの受診をお願いする場合があります)。4月からの2ヵ月間、里帰り分娩をお考えであった妊婦さん、ご家族の皆さんには、ご迷惑をおかけいたしました。当院としましても苦渋の決断であったことを病院ホームページでもお知らせしております。

そもそも、里帰り出産は、ただの甘えん坊さん、じゃなくて、働いている都合上、もしくはその時くらい里に帰りたい、もしくは旦那さんのお里でお世話にならざるを得ない、理由はいろいろあります。何が一番の目的？産婦さんご自身と家族が頑張れる状況を、全国の産婦人科医が協力する、これが里帰り出産の真髄だと思います。ですから、上の子の学校あり、里帰りしなくて居住先で産むも、全然オッケーであり、それこそ「みんな違ってみんないい」なんです。地域周産期医療も、地域周産期医療に携わる関係者の健康も守らねばなりません。

おそらくこの新型コロナウイルス感染はそのうち収束するでしょうが、また未知の感染症は出現する可能性もあります。里帰り出産は、不要不急の外出と片付けられてはならず、母子ともに心身の安全を保つためにも、我々産婦人科医師、周産期医療に関わるスタッフ、行政は、この経験をこれからの周産期医療に生かして行かねばなりません。

「ブルーインパルス」の東京フライオーバー(Fly over)に思うこと

本部・副幹事長 西村 弘文（会員No.464）

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急事態宣言が解除された5月25日から4日後の5月29日、航空自衛隊のアクロバットチームであるブルーインパルスが午後0時40分から約20分間のフライオーバーを行いました。新型コロナウイルス感染症へ対応中の医



フライオーバーの経路図

療従事者等に対する敬意と感謝を示すことを目的として計画されたもので、都立駒込病院(文京区)、都立墨東病院(墨田区)、荏原病院(大田区)、自衛隊中央病院(渋谷区)といった第一種感染症指定医療機関を結んだ経路を、1パス目はデルタ隊形で、2パス目はフェニックス隊形(写真参照)で、スモークを出しながら飛行しました。飛行高度が人口密集地の上空であることから約4,000フィート(1,300メートル)と高く、また、天気も良く、23区内では多くの場所で見ることができたと思われます。

昨年2月に自衛隊を定年退官して一般企業に再就職した私は、当日は在宅勤務中で埼玉県川口市の自宅に居り、全行程を視認しました。長く航空自衛隊に奉職し、その内2年間、ブルーインパルスの隊長を務めた経験を踏まえ、感じることを書き留めてみたいと思います。なお、特段の取材はしていない上での個人的見解であることを申し添えます。

ブルーのフライオーバーは天候にも恵まれて、医療従事者等に感謝を伝える素晴らしいものだったと感じましたが、一方で、予算は他に使うべきであるとか、東京だけでは不公平だといった意見がありました。昨今の風潮から見て十分予想される反応でしたが、寂しい限りです。「人はパンのみにて生きるものに非ず」、精神的な拠り所が必要です。連日、院内感染の恐怖の中にあって献身的に最前線で戦っている方々を支えるものは、本人の使命感と周囲からの感謝でしょう。ブルーのフライオーバーは国家機関である自衛隊の活動であり、まさに国として敬意と感謝を示さんとしたものです。国土交通省の協力も多大だったと思います。私が真っ先に考えたことは、日本で最も離着陸数

が多い羽田空港との調整がよくできたなということです。羽田の離着陸数は年間44万回、一日1,200回です。羽田は2方向4本の滑走路を有しますが、ブルーの飛行経路は1方向2本の滑走路に対する進入経路に被っていますので、通常では管制業務を受け持つ羽田空港からの許可は得られません。国土交通省が今回のフライオーバーの重要性を理解したからこそこの処置だったと思います。また、成果については写真にあるとおり、医療従事者の方々の喜ぶ姿が端的に物語っていると思います。



デルタ隊形で中央病院上空

ところで、自衛隊ではリーダーシップと同等にフォロワーシップを教えます。戦いでは全戦闘員の努力方向を一つに束ねなければ目標を達成できません。戦況は常に不明な点が存在し、また、時々刻々と変化します。「戦場の霧」の中では、責任をもって大局的な判断ができる指揮官の決心を全ての構成員が信じ、一心にその達成に努めることが求められます。また、意見具申をすることはあっても、指揮官の意図が変わらない限りは、その命に従い行動します。責任のない不平不満は努力の集中を妨げるただの雑音に過ぎません。新型コロナウイルスという未知のウイルスとの戦いは、まさに戦場の霧の中での戦いです。ここは、責任と情報が集まる政府の方針を信じて全ての日本人が努力を集中すべき時だと思います。



フェニックス隊形で都庁上空

「コロナに負けるな!! 湯田温泉西の雅常盤の取り組み」

宮川 和也 (法人会員)

私は、西の雅常盤という屋号の政府登録国際観光旅館を経営しております、株式会社常盤代表取締役社長の宮川和也と申します。このたび、七夕会会報第7号に寄稿させていただけることを大変光栄かつ喜びに感じております。

まさに、昨年から考えると、まさかといわれる新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態に日本列島・全世界が大きく揺れております。第二次世界大戦・太平洋戦争以来の危機ともいわれております。とりわけわが観光業界・旅館業界全体・全域は大変なダメージを被っております。



今まさに、全国の旅館は各々旅館ごとに、公的団体の全旅連並びに日本旅館協会の新型コロナウイルス感染防止のガイドラインにそった感染拡大防止対策に余念がありません。東京オリンピックの来年への延期の状況のなかで、国策のインバウンドは壊滅的で、経済的ダメージは計り知れません。山口市も例外ではなく、新型コロナ感染拡大渦の中、まさに、新しい生活様式の感染拡大予防対応に全力で取り組んでおります。

当館でもフロントのアクリルボード設置、37.5度以上の体温のご来館者を検査するサーモグラフィーでの検温、フロント前待合スペースの椅子を向い合せにせず同じ方向を向く設定にすること、食事処のテーブルの間隔をあける、エレベーターを壁に向いて乗って頂く、風呂の脱衣籠を間引く、パブリックの各所に空気清浄器を設置する、女将劇場ライブの観劇を間隔を空けて見ていただくなど、ガイドラインにそって三密を防ぎ、ソーシャルでスタンスをとる施策を万全を期して実践しております。

緊急事態宣言解除後の東京都及び首都圏・大阪府・愛知県・福岡県を中心とした感染拡大の中にあって、皆さまに是非来ていただきたいにも関わらず、感染防止対策を強化せざるを得ないジレンマのなかでの対応を迫られております。

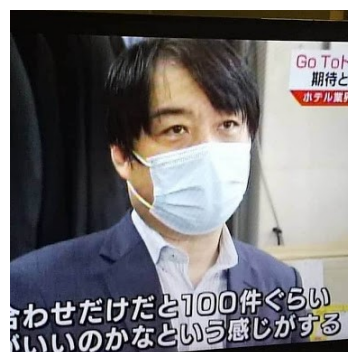
山口でも、迷惑系ユーチューバーが、コロナ感染後に山口を行脚して一部に感染拡大するなど、当館でも84件404万円のキャンセルが来るなど風評被害におわれております。一部飲食店・ホテル・商業スペース閉鎖などの被害がでております。

旅館経営においても、通算で約2億6千万円以上のキャンセルの影響で過去に無い売上げ減少により、経営が厳しくなり、資金繰り対策を余儀なくされております。

旅館経営においても、通算で約2億6千万円以上のキャンセルの影響で過去に無い売上げ減少により、経営が厳しくなり、資金繰り対策を余儀なくされております。

す。政府系金融機関からの新型コロナウイルス対策融資・全国保証協会によるセーフティーネット貸付等の政府の資金繰り支援や、国の雇用調整金、各都道府県の補助金・助成金、国の家賃支援給付金・持続化給付金等によりまして、資金繰りを繋いで事業継続のため何とか凌いでいるのが現状です。

また、7月22日から始まりましたGoToトラベルは取扱要領に基づいた事務手続きが迷走しておりますが、旅館業界・観光業界においては、起死回生としての有用な起爆剤です。7月の四連休の休前日3日間は満員になりました。来年の1月までの有効期間の中で、東京都は割引対象からはずれましたが、夏休みの商戦にむけて、国土交通省・観光庁の需要喚起施策キャンペーンを最大限に活用することとしました。因みにGoToトラベルキャンペーンの実績ですが、7/22から8/31の宿泊者数について次の通りです。



- ・GoToを利用した宿泊者数＝約2900名、宿泊者数の増加率＝12%UP。

- ・8月13日から16日の宿泊者数＝584名(内県外は453名)

- ・県外宿泊者数のうち、GoTo利用者の割合＝およそ95%程度。

来る今年9月23日・24日に全国旅館・ホテル生活衛生同業組合連合会の全国大会が山口市及び下関市でおこなわれる予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月の予定が延期になりました。全旅連全国大会前夜祭・全旅連常務理事・理事合同研究会が23日に約100人の予定で山口市の当西の雅常盤で、翌日の全国大会がライブ配信で下関で開催されます。会長である宮川力山口県旅館生活衛生同業組合理事長が大会実行委員長を務め、行政も含めた山口県観光業界全体で最高の接遇準備をしております。以上、最後までお読みいただき感謝申し上げます。



「東京コワー ～コロナとボクと、時々、カゾク～」

副会長・本部長 梶山 俊哉（会員No.579）

○僕:生まれ＝山口市、住まい＝川崎市

通勤先＝東京都千代田区丸の内。

○家内:同居。専業主婦

○次女:同居。通勤先は東京都千代田区(時々テレワーク)

何かと注目される東京とコロナ。東京でコロナに感染しない、感染しても職場の同僚や家族にうつさない。そのための僕の新たな日常をご紹介します。

■5時00分:洗面。歯磨きチューブとコップは家族でも別々

■5時15分:自宅を出発。ゴミ出し

■5時35分:小田急線柿生駅から乗車

①乗車前に携帯消毒液で手を消毒

②乗車時にマスク着用

早朝の電車であれば、乗り換える営団地下鉄も含めて吊革に立つ乗客は少ない



■6時30分:オフィス到着

①それまで着用したマスクを廃棄。新しいマスクを着用

②手洗い、うがい

③除菌ティッシュで机上、引き出しの取っ手部分、キーボード、マウス等を清掃

④除菌ティッシュでコピー機、プリンター等のスイッチ・ボタン周りを清掃してからスイッチオン



⑤勤務中はオフィス備え付けの消毒液で、こまめに手を消毒

■16時50分:オフィス出発

①乗車前に携帯消毒液で手を消毒

②マスク着用

この時間に乗車すれば吊革に立つ乗客は少数。ただし、途中で乗り換える頃には混み始めるため、特に混み合う快速は避け、時間はかかっても多少乗客が少なめの準快速に乗車

■18時30分:自宅着

①開錠後、内外のドアノブ等を消毒

②マスクをビニール袋に入れて廃棄



③手洗い、顔洗い、うがい。バスタオルを除き、タオルは全て紙タオル

④その後、自室から出る度、消毒液で手を消毒

■19時:僕がダイニングで食事開始

窓を開けて換気扇を回し、一人で食事。その間、家族は極力ダイニングに立ち入らない

■19時30分:僕が自室へ移動

■19時30分:家内が一人で食事開始

■20時15分:次女が帰宅

■20時30分:次女が一人で食事開始

今年に入ってから新しい日常生活を振り返るに、昨年までの生活と随分様変わりしてきたと感じます。大好きな飲み会も自粛(★3月から7月末までの自宅外での酒席回数＝4回)。

とはいえ、医療従事者・関係者の皆さんのご苦労や、大打撃を受けている一部の産業従事者の皆さんのご心痛に比べれば、大した話でもありません。この東京圏で「with コロナ」生活を続けていけば、きっとコロナ感染の鎮静化が訪れ、3月以降果たせずにいる帰山が実現するものと信じています。「after コロナ」、「脱コロナ」に思いを馳せながら、今日も僕は「with コロナ」。ひたすら手を洗い、うがいをし、一人の食事を続けます。

令和2年度・新任の山口七夕ふるさと大使の皆さん(令和2年9月1日委嘱)

氏名	会員番号	入会年
徳久 徹 さん	29	平成10年
白須 宏 さん	172	平成13年
安田 宏 さん	247	平成17年
梅田 圭良 さん	296	平成19年
久重 剛志 さん	371	平成21年
本多 圭子 さん	655	役員として委嘱

< 新任山口七夕ふるさと大使からのメッセージ >

この度は山口七夕ふるさと大使にご推挙いただき有難うございました。

私の生家は、ちまきや八木デパート（現在の井筒屋）の隣の古い町家で空き家対策に悩んでいましたが、10年前から山口市のバックアップで市街地振興策として中市商店街で維持管理にあたってもらっています。（庭は街のオアシスとして出入り自由です。）

私は山口高校卒業後東京に進学、それ以来日本各地を転勤で明け暮れ、定年退職後ようやく母の介護もあり山口と横浜を年4～5回車で往復していました。現在も年2～3回は墓参りや高校同期のゴルフ会（10名程度の集まり）で帰山しています。

又山口出身の学生の育英事業を手掛ける（財）防長教育会のお手伝いもしており、今後とも首都圏と山口を結ぶ懸け橋の一助となるべく務めてまいります。

梅田 圭良

※梅田さんは、今回の新任大使の中で、一番の人生のベテランでいらっしゃることからメッセージをいただきました。



（左が梅田さん、右は八木会長）

< 山口七夕ふるさと大使・関周さんから七夕会へのご寄附のご報告 >

山口市出身の歌手として、東京都北区十条のピアノバーのオーナーとしてご活躍されている山口七夕ふるさと大使の関周さん。地元の方々から愛され、今や地元の小学校を訪問し、歌を通じて子供たちに愛や友情の大切さを語りかける関周さん。

その関さんが、昨年 56 歳でCDデビュー。デビュー曲「パパの作りばなし」の印税を、山口七夕会に寄附してくださいました。七夕会としての感謝の気持ちをここに表します。

関さんの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

(注)8月1日の七夕会総会にて予定しておりました寄附セレモニーは中止となりましたが、本会報への掲載を持ちましてご報告させていただきます。

山口七夕会副会長・本部長 梶山俊哉

< 関周さんからのメッセージ >

歌手デビューする話がまとまったのは、2018 年の9月ですから、2年前のことです。その少し前から、山口七夕会の皆さんが拙店をご利用になり、楽しく歌い飲み、故郷山口を想う姿に、自分も何か協力できないだろうかと考えていました。こう書くと、歌手を目指す方々に失礼ですが、自分はもともと歌手になろうと思っていたわけではない、たまたま「貴方にぴったりです」と作家さんから楽曲を紹介され歌うことになり、話がトントン拍子に進んだ、「これは、この年になって、オマケのようなものだ」と思ったのです。

レコード会社との契約書を見たら「歌唱印税」というものがあり、販売額のおよそ1%が自分に入ることを知りました。「そうだ！これを山口七夕会に寄附しよう！」今回、2,000 枚販売分の印税を含む、20,000 円（*）を寄附致します。僅かですが、お役に立ててくださったら嬉しいです。

7月31日、デビューのきっかけとなった「みんなのまり祭 Vol.3」にコロナ禍の中、出演しました。音楽の可能性は無限、数値では表せないことを改めて感じました。パパの作りばなしを聴いた方から「思わず泣きそうになった」「会場がパパになってた。包まれてた」など有り難いお言葉、ますます頑張らねばと思いました。今後とも、どうぞよろしくお願いします！



(*)歌唱印税は、税抜き販売価格(2,000 枚分)の 1%に、0.8 をかけた額になり、端数が出ますので、寄附はきりの良い 20,000 円に致しました。

「山口七夕会新会員・法人会員の皆さん」

R1年度個人会員入会者

会員番号	氏名
745	俵田 祐児
746	大浜 三平
747	渡辺 綾子
748	南 知子
749	平本 浩一
750	山田 豊佳
751	西村 朋美
752	奥田 和彦
753	田中 美旋律
754	井出 由希子
755	久保 孝
756	平佐 彰
757	新谷 文子
758	池上 勝憲
759	原田 哲也
760	谷口 志津子
761	陳 樹立
762	増本 義伸
763	平田 康雄
764	西坂 寿美子
765	伊藤 孝

(敬称略)

R1年度個人会員入会者

会員番号	氏名
766	伊東 正文
767	熊澤 厚
768	小野 俊雄
769	福田 智里
770	合志 栄一
771	田所 誠治
772	石村 健
773	稲田 亮
774	多田 望
775	酒向 淳子
776	南山 恭兵
777	原田 尚美
778	入交 知則
779	仲 典子
780	藤井 尊弘

R2年度個人会員入会者

会員番号	氏名
781	繁永 俊之
782	秋貞 憲治

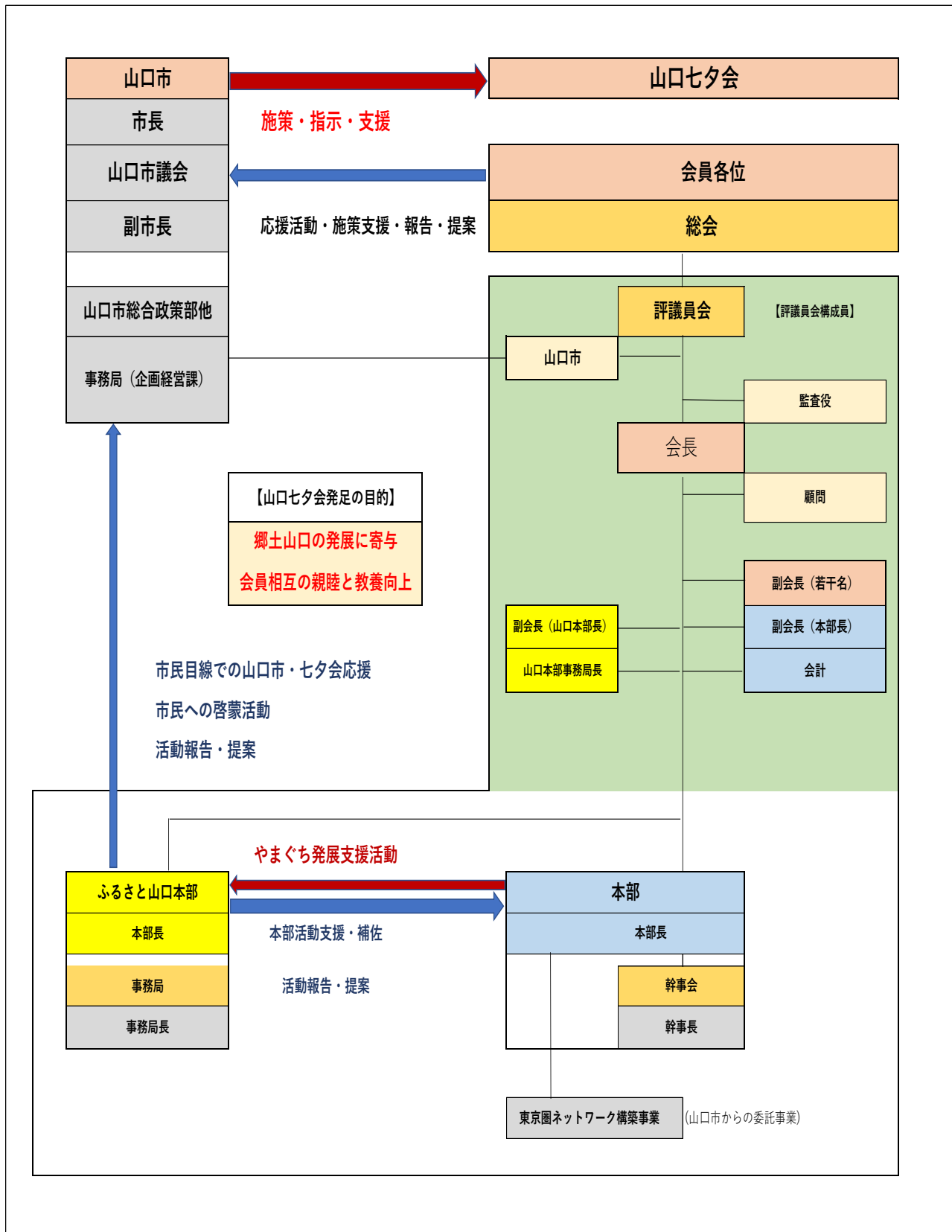
法人会員

1	村重酒造株式会社
2	山口日産自動車株式会社
3	旭水産有限会社
4	株式会社 常盤
5	株式会社 地域情報新聞
6	株式会社 技工団
7	企業組合 アグリアートジャパン
8	金光酒造株式会社
9	有限会社劇団角笛
10	オンガネジャパン株式会社
11	一般社団法人平成の萩往還・中山間地振興をめざす会
12	マルシフードサービス株式会社
13	社会福祉法人 青藍会
14	株式会社セブンシステム
15	株式会社光華
16	株式会社ベルミューズ
17	一般社団法人日本自動車連盟 山口支部(JAF山口支部)
18	一般社団法人ノーチラス・デザイン・ワークス
19	BRAIN SIGNAL株式会社
20	弁護士法人末永法律事務所

※会員数：380人、法人会員20社

(令和2年8月31日現在)

山口七夕会運営基本方針・組織関係図(令和元年8月3日～)



役員一覧(令和2年9月1日付)

会長・副会長・評議員・監査役・顧問

		役割
会長	八木重二郎	代表、総会・評議員会議長
副会長・評議員	渡邊史信	会長補佐 兼 会長代行
副会長・評議員	奥原 保	会長補佐
副会長・評議員	梶山俊哉	会長補佐 兼 本部長
副会長・評議員	瀬川英顕	会長補佐 兼 ふるさと山口本部長
評議員	大田 宗	会計
評議員	吉松 勇	ふるさと山口本部事務局長

顧問	石田順康
顧問	山本和生(在山市)
顧問	山口県東京事務所長

監査役	大枝幹夫
監査役	竹重高志

本部役員

本部役職		役割
本部長	梶山俊哉(再掲)	会務統括
副本部長	武内衛子	本部長補佐
幹事長	山根和也	本部長補佐
副幹事長	藤井謙志	幹事長補佐
副幹事長	西村弘文	幹事長補佐
幹事	大田 宗(再掲)	会計・経理・予算・出納
幹事	本多圭子	本部長補佐
幹事	引頭和江	イベント会費徴収責任
幹事	大嶋愛子	公式行事
幹事	田中美旋律	イベント企画
幹事	田村廣修	本部長補佐・広報
幹事	岡本達也	東京圏ネットワーク構築事業
幹事	村中正司	東京圏ネットワーク構築事業
幹事	久家菊美	本部長補佐・東京圏ネットワーク構築事業

ふるさと山口本部役員

		ふるさと山口本部役職
副会長・評議員	瀬川英顕(再掲)	本部長
	申神正子	副本部長
評議員	吉松 勇(再掲)	事務局長
	濱野文彦	事務局長補佐
	山下大輔	事務局長補佐 兼 会計
	伊藤満宏	本部長補佐
	関 和貴	事務局・楽農部会長
	嘉瀬 修	事務局・日本酒部会長
	坂本哲也	事務局・音楽部会長
	村田常雄	事務局
	中野邦夫	事務局
	仙田達夫	事務局
	松西照美	事務局
	庄栄一郎	事務局
	杉本理恵子	事務局
	柴田尊明	事務局
	原田茂樹	監事
	国光文夫	監事
	吉田正治	ふるさと山口本部顧問
	吉田充宏	ふるさと山口本部顧問
	山本和生(再掲)	山口七夕会顧問
	山下憲治	アドバイザー

< ピンバッジ&缶バッジ 会計報告 >

七夕会 20 周年記念ピンバッジ&缶バッジの購入募集に際しましては、多くの方にお申込みをいただき誠にありがとうございました。お陰様で製作単価の下がる 50 セット以上の発注となり、残金が発生しました。残金は追加発注に備えてひとまず口座に残し、年度末の最終的な残金は事前にご案内の通り、寄附金収入として七夕会予算に算入させていただきます。

山縣前幹事長が作成に拘られ、伊東会員にデザインのご協力をいただいたバッジです。七夕会のイベント、交流会や会員の会合等で是非ご着用ください。

【収支報告】

1. 収入 58,770円

バッジセット購入代金 1,000円×59セットー振込手数料

2. 支出 45,920円

バッジ代金 38,500円、郵送料 5,590円、募集チラシ印刷代 1,170円

封筒・梱包材等 660円

3. 残金＝寄附予定額 12,850円

4. 補足

バッジの在庫が 1 セットありますので、七夕会本部で保管します。

< 法人会員を募集しています >

=法人会員（年会費 1 万円）を募集しています！=

～山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています！～

○山口七夕会では、各事業年度内に原則 3 回、会員のみなさまに「山口七夕会会報」、「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は 380 名ですが、法人会員のみなさまは、各事業年度内に 1 度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。

（単純に計算しますと、切手 84 円×380 名＝31,920 円のコストが年会費 1 万円の法人会費に含まれることになります。）

○今後の会員への「山口七夕会通信」などの発送は、令和 3 年 1 月、6 月及び 9 月に予定しています。

○また、新規に法人会員を募集しますので、会員のみなさまのご関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしくお願いします。

お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局までお願いします

山口市七夕会事務局(山口市企画経営課内) 担当:伊藤 TEL:083-934-2746

< **七夕会「通信」・七夕会「会報」の原稿募集中です** >

1. 表紙の写真、挿絵

山口ゆかりの写真、挿絵を募集します。簡単な解説文を付記してください。

2. 山口方言で一言（山口方言発掘）

皆さんからお寄せいただいた、ちょっと難解だったり、どこか懐かしい山口方言を掲載します。多くの皆さんからの投稿をお待ちしています。

3. 大使の一言

令和元年から新たに委嘱を始めた「山口七夕ふるさと大使」の皆さんの、自己紹介記事やメッセージを掲載します。我こそはという大使の方は、是非ご応募ください。

4. 私も一言

次のテーマと要領で、皆さんからの投稿を募集します。お待ちしております。

★募集するテーマ

(1) 山口市何でもランキング

山口市の順位が上位である事例・物品に限らず、山口市が始まりの物品・慣習でも可です。

(2) 山口県外の山口「市」（「県」でも可です）ゆかりの地や名跡、建物紹介

※本6月号には、奥原副会長に寄稿していただいた記事を掲載しています。

(3) 母校の今（山口市内の幼稚園・小中高・大学・短大・専門学校等の情報）

(4) 会員活動紹介（スポーツ選手後援会などの営利活動以外の活動紹介）

(5) 自由テーマ

★字数

多くの方々の原稿を掲載するため、1,600字程度（写真がある場合はそのスペースを含みます）。

★投稿締切

「通信」1月号の掲載を希望される場合は11月末まで、「通信」6月号の場合は4月末までに事務局必着とさせていただきます。

★投稿提出先

事務局の相山副会長・本部長（メールアドレス：tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp）へ、電子データ（Word、テキスト形式など）でお願いします。

（事務局より）七夕会「通信」は白黒印刷、七夕会「会報」はカラー印刷です。ご承知おきください。

山口方言で一言（解説・標準語訳）・・・本誌の3頁をご参照ください。

①年を取り、転ばないように歩くのが精いっぱい、もうやりきれない。

【福井廣海・会員】

②熊手では全く動かなくて歯が立たない。腕もだるくなったし刺（とげ）が刺さったし作業にならない。もう散々（踏んだり蹴ったり）。

【渡邊史信・副会長】

③コロナでどこにも行けないので、ふらふら、ぐずぐずしています。

【田中美旋律・本部幹事】

④在宅勤務ばかりで気がぬけているのか！フルスピードでやれ。

【大田宗・評議員】

⑤コロナが心配で家で映画ばかりみていたら、TVが壊れた。本当にやってしまったなあ。

【藤井謙志・本部副幹事長】

イベント予告[本部(東京)]

＜秋の講演会 & 32 回交流会＞

日時:令和2年11月14日(土)11時～講演会、12時15分～交流会

場所:「インテリジェントロビー・ルコ」東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル 1F (JR/地下鉄 飯田橋)

講演講師:西村 弘文氏(本部副幹事長・元航空自衛隊一等空佐)

講演タイトル:「Blue Impulse の抑止力」

☆会員を中心とした恒例の交流会です。会員でないご家族やご友人をお誘いいただくこともできます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

☆お申込みは、七夕会会報第7号に同封された出欠連絡票をご利用ください。

【編集後記】

今年の会員総会は、七夕会創立後初めて中止となり、書面決議を実施いたしました。これまで接点のなかった会員の皆さんから、書面決議書が次々と届き、七夕会が多くの会員の方に支えられていることを改めて感じました。本当にありがとうございます。なお、日頃は会員番号を意識されていない方が多いと思いますが、事務局から届く送付物の送り状に記載があります。是非一度ご確認ください。

今回の七夕会会報では、表紙の刷新をはじめ、新企画も採用しました。これからも会員の皆さんのニーズを意識し、新たな情報発信に挑戦していきます。 編集長(山口七夕会副会長兼本部長) 梶山俊哉

インターネットをご活用ください！

①七夕会ホームページ (<http://www.yamaguchi-tanabatakai.org/>)

検索サイトで「山口七夕会」と検索してください。

②七夕会フェイスブック

会員の皆さん限定となっています。閲覧を希望される方は、七夕会役員までご一報ください。

③山口市ファンクラブ(フェイスブック)

公開ページです。「山口市ファンクラブ」で検索してみてください。

★編集者＝本部長の梶山の電子メールアドレス：tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp

山口ゆかりの情報をお届けします。このアドレスまで「メルマガ希望」とメールをお送りください。

【事務局からのご案内】

◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(ご連絡がないと七夕会通信や市報等の資料が届かなくなってしまう)

◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。(会員録の整理などの事務手続きに必要となります)

★山口七夕会事務局(山口市企画経営課内)

〒753-8650 山口市亀山町2番1号

TEL 083-934-2746/FAX 083-934-2642

★本部(梶山本部長)

tanabata1999@pa2.so-net.ne.jp